

各関係機関・団体の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成19年度技術情報第2号(茶樹のカンザワハダニ)について(送付)

茶樹のカンザワハダニについての情報をとりまとめましたので送付します。

平成19年度技術情報 第2号  
(茶樹のカンザワハダニ)

カンザワハダニは、昨年11月以降の越冬密度が高く、一番茶の刈番茶摘採前の寄生葉率も高い状態が続いています。

今後、二番茶への影響が懸念されるため、防除を徹底してください。

1. 情報の内容

作物名 茶  
対象病害虫 カンザワハダニ  
(1) 発生地域 県内全域  
(2) 発生量 多  
(3) 防除時期 一番茶刈番茶終了後

2. 情報の根拠

- (1) 4月中旬の一番茶摘採前の巡回調査では、発生ほ場率が100%(平年55%)と高かった。また、寄生葉率は21%で、前年(3%)と比較して高かった。
- (2) 4月下旬から5月上旬における一番茶の刈番茶摘採前の調査では、摘採の影響で寄生葉率はやや低下した(7地点平均16%)が、摘採前と同様に高い状態が続いている。

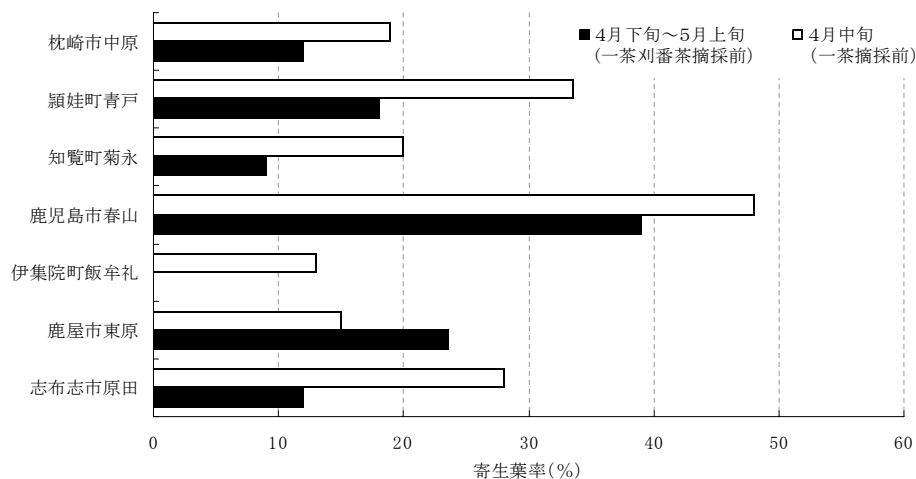


図 一番茶期のカンザワハダニ寄生葉率

- (3) 向こう1か月の気温は高く、降水量は少ないと予報されており、今後も発生の増加と二番茶への被害が懸念される。

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 天敵の働きが活発になる時期なので、天敵に影響の少ない薬剤を選定する。
- (2) 薬剤散布は、葉裏まで十分にかかるよう留意する。